

令和7年度事務事業評価シート

令和7年8月25日

事業番号		担当課等	水道課							
事務事業名	浄水場整備事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅱ 持続可能な生活環境の構築	9 上下水道	(1) 上水道事業の推進	上水道の整備				
関連する個別計画	湯河原町水道ビジョン								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○			○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	老朽化した浄水場等施設及び設備の更新を実施し、安全安心な水道水の安定供給を図る。								
対象	湯河原町上水道区域の受水者								
内容	日々の巡回及び各種点検の結果を基に、計画的に更新する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		4,840,000	4,070,000	13,750,000			
	人件費	常勤職員	3,616,000	3,659,000	3,828,000			
		会計年度任用職員等	620,839	0	0			
		人件費合計	4,236,839	3,659,000	3,828,000			
	総事業費		9,076,839	7,729,000	17,578,000			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債		4,800,000	2,970,000	11,000,000			
	その他特定財源							
	一般財源		4,276,839	4,759,000	6,578,000			
	財源合計		9,076,839	7,729,000	17,578,000			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
工事箇所数			浄水場等施設内の設備を定期的に更新する		箇所	3	1	2
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
工事箇所数			浄水場整備工事を実施する		箇所	3	1	2
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	水道法の規定により町(水道事業者)が実施するものである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	計画的に更新することで、事故を未然に防ぐことができ、水道水の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事故に対する未然防止と水道水の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	湯河原町上水道事業給水区域が対象であるため、受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		不具合の発生する恐れの高い設備から順次定期的・計画的に更新した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	水道事業の全体又は施設の維持管理等部分的な第三者委託は可能ではあるが、費用等も含めて検討する必要があり導入には至っていない。
令和7年度の見直し及び改善予定	不具合の発生する恐れの高い設備から順次定期的・計画的に更新する。	
令和8年度以降の方向性	浄水・配水機能の適正な維持と、事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図るため、定期的・計画的に実施していくとともに、安全性を高めるため新たな設備を導入する。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	定期的・計画的に実施し、事故を未然に防ぐよう努めること。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年8月25日

事業番号		担当課等	水道課							
事務事業名	城堀簡易水道統合事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	平成24年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅱ 持続可能な生活環境の構築	9 上下水道	(1) 上水道事業の推進	簡易水道組合の統合				
関連する個別計画	湯河原町水道ビジョン								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○			○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	水資源の有効活用、効率的な上水道の供給、統一的な町民サービスの提供及び水道事業経営の健全化を図るために統合した旧簡易水道施設の運転等監視を強化する。								
対象	町営水道の受水者								
内容	水道事業が導入している遠方監視制御装置で監視ができるように施設の整備を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	常勤職員	2,169,600	1,544,000	772,000	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	2,169,600	1,544,000	772,000	
		総事業費	59,522,215	23,104,000	33,112,000	
財源内訳		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	24,700,000	15,740,000	24,180,000	
		その他特定財源				
		一般財源	34,822,215	7,364,000	8,932,000	
		財源合計	59,522,215	23,104,000	33,112,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
協議回数		2ヶ月に1回実施	回	0	0	6
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
統合の実現		事業統合が目的であるため	回	1	0	1
				0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町が事業を譲り受けるため、町が実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	令和5年4月1日に統合し、町営水道として運営している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	令和5年4月1日に統合し、町営水道として運営している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	令和5年4月1日に統合し、町営水道として運営している。
令和6年度までの自己評価または改善点		令和5年4月1日に統合し町営水道として運営している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	一部業務について委託を行っているが、基本的には当事者間の協議により事業が進められるため
令和7年度の見直し及び改善予定	町水道事業が導入している遠方監視制御装置での監視ができるように、施設の整備を行う。	
令和8年度以降の方向性	令和7年度に事業完了	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	完了	
---------	----	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	完了	
---------	----	--

令和7年度事務事業評価シート

令和7年8月25日

事業番号		担当課等	水道課							
事務事業名	配水管整備事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅱ 持続可能な生活環境の構築	9 上下水道	(1) 上水道事業の推進	上水道の整備				
関連する個別計画	湯河原町水道ビジョン								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○			○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	配水機能の適正な維持と漏水等事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図る。								
対 象	湯河原町上水道区域の受水者								
内 容	老朽化した配水管を毎年定期的・計画的に布設更新する。 また、漏水等により早急な対応が必要な個所についても随時対応する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		50,611,000	51,279,800	93,200,000		
	人件費	常勤職員	2,892,800	2,927,200	3,062,400		
		会計年度任用職員等	0	0	0		
		人件費合計	2,892,800	2,927,200	3,062,400		
	総事業費		53,503,800	54,207,000	96,262,400		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債		41,100,000	42,700,000	80,700,000		
	その他特定財源						
	一般財源		12,403,800	11,507,000	15,562,400		
	財源合計		53,503,800	54,207,000	96,262,400		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
工事個所数			老朽管の布設替工事を計画的に進めるため	路線	5	5	7
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
布設替延長			配水管総延長の0.5%	m	584	549	690
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	水道法の規定により町(水道事業者)が実施するものである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	老朽化した配水管を定期的・計画的に更新することで、漏水等の事故を未然に防ぐことができ、水道水の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	漏水等の事故に対する未然防止と水道水の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	湯河原町上水道事業給水区域全域が対象であるため、受益の機会均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		老朽化した配水管から更新した。 土木課と連携し、合併工事とすることで経費の抑制に努めた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	水道事業の全体または施設の維持管理等部分的な第三者委託は可能ではあるが、費用等も含めて検討する必要があり導入には至っていない。
令和7年度の見直し及び改善予定	老朽化している配水管から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和8年度以降の方向性	配水機能の適正な維持と、漏水等事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図るため、定期的・計画的に実施していく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	計画的に実施し漏水等事故の未然に防ぎよう努めること。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------